

道北愛信興業株式会社

業種	卸売・小売業	事業所所在地	北海道上川郡和寒町	資本金	1,000千円
		売上高	～50,000万円	従業員数	5名

 	被承継者（左）		
	浜田 義昭	70歳	※承継時
	承継者（右）		
	本多 純芳	45歳	※承継時

事業承継を行った時期	2020年5月	被承継者と承継者の関係	その他の親族（娘婿）
承継前の主たる事業の内容	建築資材等、事務消耗品、オフィス用品の販売	承継前の主たる事業の課題	資材を保管している倉庫が老朽化しており、かつ効率の悪い配置と構造であったため、在庫保管数量にも限りがあり、商品を提供するために要する作業も非効率であった。

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
数年前から倉庫を改修する必要性を考えていたが、被継承者が高齢でもあったことから、先々の事業予想を考えるとなかなか倉庫の更新に前向きになれていなかった。	特になし	特になし
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
特になし	特になし	特になし

これに一番苦労した！	倉庫改修に関わる資金繰り
------------	--------------

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	申請内容の添削
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

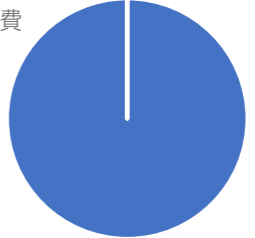
経営革新等に係る取組の標題

倉庫一新で豊富な品揃えと在庫量確保並びに商品提供の業務合理化

経営革新等に係る取組の内容	その他の新たな事業活動
---------------	-------------

- 当社は、資材卸売業として地域顧客のご要望に合わせた建築資材等を供給していたが、近年は多種多様な資材のご要望が多く、効率的に建築資材等を保管し供給するための新たな倉庫が必要であった。そこで、事業承継を機に本補助金を活用して、重量のある建築資材商品を人力で搬入出していた非効率的で老朽化した古い倉庫を解体して、床面積を広げることで和寒町及び近隣町村にないフォークリフトが出入可能なタイプの近代的な倉庫を新築した。
- これにより、商品を効率良く搬入出できるように機械と人力が並行作業できる動線を設計することで、以前よりも豊富な品揃えと在庫量を確保してかつ商品を効率よく迅速に商品提供できるような体制強化が図れた。
- 今後も、豊富な商品在庫を武器に今まで取り逃していた注文を獲得することで、顧客満足度の向上、新規顧客の増加、販売拡大による収益増を目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
普段からお世話になっている地域顧客への商品提供がスムーズになった。	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">■ 設備費</div>  </div>
	経費の主な使い道
	設備費：倉庫新築費

認定経営革新等支援機関の名称：和寒町商工会

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
----------------------------------	----------------------------------	---	----------------------------------

申請内容の中で都度訂正事項を丁寧にメールで細かくご指示頂いたため、大変スムーズに申請を行うことができました。

今後に向けて～次の目標

2020年から2023年に向けて	この補助金の申請を行ってから、今後の目標に向けて事業を少しでも拡大したいという想いに賛同してくれる職員がすでに1名入社したので、この倉庫とともに更なる売上アップにつながればと考えています。
売上高	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
このような補助金制度があることで、考え方が異なる承継者がスムーズに事業を引き継いでくれる懸け橋の一つになっているのではないかと思います。	資金繰りが大変な中小企業の中で、新たに取組みを行いたいと考えている事業者様にとって、この事業はとて有意味なものになりました。